

2019年04月26日

## 【格付維持】

## アメリカ合衆国

外貨建発行体格付： A A A [格付の方向性：安定的]  
自国通貨建発行体格付： A A A [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

## 【格付理由】

経済力や軍事力は世界で群を抜いている。各種のソフトパワーでも優位にあり、政治的影響力で他国の追随を許さない。財政刺激策の効果が薄れ、成長率は軟化が予想されるものの、労働市場の堅調さを背景に経済は底堅く推移すると予想される。大規模減税の影響に加え社会保障費や利払い費などの増加で財政赤字は拡大する見通しだが、基軸通貨国であり資金調達面での懸念はない。こうした点を勘案し、外貨建及び自国通貨建発行体格付AAAを維持した。

全米経済研究所(NBER)によれば、米国経済は史上2番目に長い景気拡大期にある。実質国内総生産(GDP)成長率は、大型減税を背景に高まった2018年の水準からは軟化が予想されている。雇用・賃金面の安定を背景に今後も個人消費が経済成長の土台になると想定され、2%程度と推計される潜在成長率前後の経済成長が期待できる。米中の貿易交渉の行方や米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)の批准など、対外要因をめぐる政治リスクには注意が必要だ。

財政赤字は急速に縮小してきたが、大規模減税で見通しは変化した。議会予算局(CBO)の予測では当面、高水準の財政赤字が続く。大規模減税の実施にもかかわらず歳入は増加が見込まれる一方、利払い費と高齢者向け給付を中心に歳出が増加し、財政赤字は拡大する。金利の正常化と債務の積み上がりを背景に、利払い費は2029年にGDP比3.0%に上昇する見通しだ。高齢化の影響の拡大は必至で、社会保障・医療制度の改革が求められる。

流動性と効率性の点で米国債市場に匹敵する代替市場は存在せず、海外投資家による売りを背景とした米国債金利の急騰リスクは限定的とみている。米国政府の資金調達面に懸念はない。時限立法で2018年2月から適用停止となっていた連邦債務上限が2019年3月2日に再設定された。2020年度予算の審議に際して債務上限問題が再び政治的な性格を持つと予想される。与野党の対立が先鋭化しており、市場の不安定化には注意を要する。

金融危機前と比べ規模は半減したとはいえ、経常収支は赤字が続いている。世界最大の純債務国でもある。所得収支が黒字であることから、米国債やドル預金などの形で世界中から安い資金の還流を促しながら、高い収益リターンを得られる対外投資している姿がうかがえる。一国の中央銀行が通貨発行益を得る仕組みと本質的に変わらず、基軸通貨国の特権といえる。対外バランスの点で特段のリスクは見当たらない。

2018年11月の中間選挙を経て議会下院は民主党が多数派となっており、与野党及び大統領と議会对立構造は深まった。共和・民主両党の党派対立や政局に振り回され、政策立案や実行に遅れが出たり、実効性が削がれたりする懸念がある。トランプ政権の多極主義的な制度や慣習への懐疑・反発は、世界的に米国との関係に修正を迫る結果となっている。経済基盤や政治社会基盤への影響がないか、注意して見ていく。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273  
株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 【格付対象】

発行者：アメリカ合衆国

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	AAA（維持）	安定的
自国通貨建発行体格付	AAA（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	関口 健爾
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年04月22日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2018.02.20]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

[https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating\\_method.html](https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html)

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

[https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating\\_grant.html](https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html)

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	アメリカ合衆国
-------	---------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報 政府を含む公的機関が作成した財政・経済資料  
品質確保のための措置 政府を含む公的機関が作成した、またはそれに準じた信頼性が確保されている資料であること。

情報提供者 —

## 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

## 信用格付に関わる留意事項

当該信用格付は、格付関係者からの依頼によるものではありません。

格付関係者から信用評価に重要な影響を及ぼす非公開情報は入手していません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。